

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

カルビー株式会社 広島みやじま工場 (2024年4月1日以前の旧称・広島工場)

(2) 事業所の所在地

広島県 廿日市市 木材港北 16-9

(3) 業種

ビスケット類・干菓子製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成18(2006)年度を基準年度とし、令和3(2021)年度から令和7(2025)年度までの5年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂），削減率（％）

温室効果ガスの種類	基準年度 排出量(a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段:実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成18年度 (2006)	令和7年度 (2025)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	
エネルギー 起源CO ₂	8,826	5,913 -33.0	7,451 15.6	5,939 32.7	5,584 36.7	5,057 42.7	
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他 温室効果ガス	0	0 0.0	371 (4.2)	48 (0.5)	91 (1.0)	130 (1.5)	
温室効果ガス 実排出量総計	8,826	5,913 (33.0)	7,822 11.4	5,987 32.2	5,675 35.7	5,187 41.2	
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する自 己評価	(補足:2013年度までは、その他温室効果ガス(フロン漏洩)を計上していない) CO ₂ フリー電力への切替と、設備更新によるフロン漏洩ゼロ化を進めており、 温暖化効果ガス排出量は削減目標を達成できる見込みである						

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

生産重量 t(トン)

温室効果ガスの種類	基準年度 原単位 (a)	目標年度 上段：原単位 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段:原単位実績(d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成18年度 (2006)	令和7年度 (2025)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	
エネルギー 起源CO ₂	0.4261	0.1819 -57.3	0.2338 45.1	0.1926 54.8	0.1882 55.8	0.1734 59.3	
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他 温室効果ガス	0.0000	0.0000 0.0	0.0116 -2.7	0.0016 -0.4	0.0031 -0.7	0.0045 -1.1	
温室効果ガス 排出量総計	0.4261	0.1819 -57.3	0.2454 42.4	0.1942 54.4	0.1913 55.1	0.1779 58.3	
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	0.2080	0.1352 -35.0	0.1472 29.2	0.1516 27.1	0.1432 31.2	0.1428 31.3	
実績に対する自 己評価	(補足:2013年度までは、その他温室効果ガス(フロン漏洩)を計上していない) エネルギー消費原単位は新型コロナで悪化したが、運転管理見直しで改善中						

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	燃料使用量の削減	都市ガスの使用量削減	・乾燥機の省エネ改善計画の検討 ・製造加熱蒸気量の削減対策調査 ・排熱回収装置の導入検討 ・燃焼装置等の定期点検実施 ・GHP運転管理の強化
2	電気起源CO ₂ の削減	CO ₂ フリー電力への切替 (以下参考：CO ₂ 削減効果) R 4 (2022)年度≒3,400 t-CO ₂ R 5 (2023)年度≒2,700 t-CO ₂ ※中国電力の排出係数にて算出	・CO₂フリー電力への切替実施 2021年9月 電力全量切替済み ・不要時の設備停止の徹底 ・設備の定期点検実施 ・LED等の省エネ照明器具への更新 (R3年度で100%完了) (小容量太陽光発電設備の導入2025年)
3	メタン及び一酸化二窒素排出量の抑制	メタン及び一酸化二窒素排出の防止	・ボイラー等燃焼機器の適正管理
4	フロン類排出量の抑制	フロン類排出の防止	・フロンガス使用設備の適正管理 ・設備更新時の低係数冷媒の採用 2022年～冷凍機2台、GHP14台、EHP2台、更新実施(継続中)

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1	該当なし	
2		
3		

○ その他の取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	廃棄物排出量の削減	製品ロスの削減1%	・不良発生防止改善、等
2	リサイクル率の向上	リサイクル率を99%以上	・リサイクル品の全品回収、等
3	その他		・社会貢献活動の推進（清掃、植樹など）

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。